

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	短期入所事業所補助事業			事業番号	011-136
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保			
		無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		寄与するKPI	有	取組	障害者児及びその家族に対する支援			
		無	指標名	—				

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画、第2期堺市障害児福祉計画			
3	事業開始年度	平成 13 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市障害者短期入所事業運営費補助金交付要綱 大阪府医療型短期入所支援強化事業補助金交付要綱、堺市医療型短期入所整備促進事業補助金交付要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	【短期入所事業運営補助】本市内で、短期入所事業を実施している事業所 【医療型短期入所整備促進事業補助】空床を利用して短期入所を提供する病院	対象数	単位	
			23	事業所	
			41	病院	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	利用者への処遇向上と、重度障害者等の受け入れを促進すること及び医療型短期入所事業所の整備を促進することにより、在宅で医療的ケアが必要な重症心身障害者児の介護者の心身の負担軽減を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>【短期入所事業運営費補助】</p> <p>障害者に十分なケアが行える職員体制を確保するため、単独型短期入所事業所における職員の増員に要する経費の一部と、重度障害者の受け入れを促進するため定員数に対する受け入れ割合に応じて加算補助を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独型事業所体制加算 障害福祉サービス事業指定基準に規定する職員配置基準を超えて職員の配置を行った日を補助の対象とする。 ※(補助基準額) 1事業所当たり年間300万円。開所日数が20日未満の月は0円とする ・重度障害者等受入加算 対象者は、強度行動障害者児、重症心身障害者児、医療的ケアを必要とする障害者児 <p>【医療型短期入所整備促進事業補助】</p> <p>病院の空床を利用して、短期入所を提供する法人に対して、在宅で医療的ケアが必要な重症心身障害者児を医療型短期入所で受入れた場合に、当該病床を医療提供に利用した場合の診療報酬と指定障害福祉サービスの報酬との差額に相当する費用を助成する。</p>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	短期入所 15事業所			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
	重度障害者等受入者数(延べ人数)	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
			目標値	—	—	—	—	
			実績値	9,226	10,288			
		達成率	—	—				
	当該指標を選定した理由	障害者が安心して地域生活を送る上での不可欠な受け皿として、短期入所事業所の受入実績は、「障害者の暮らしの場の確保」に直結するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	対象者の利用割合が一定ではないため、目標値は設定しない。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
	補助金交付事業所数	箇所	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	11	15	15		
			実績値	15	15			
		達成率	136%	100%				
	当該指標を選定した理由	障害者に十分なケアが行えるよう、利用者への処遇向上や重度障害者等の受け入れを行った事業所を補助対象としているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度の実績値						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	短期入所事業所補助事業	事業番号	011-136
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）				
		令和元年度		令和2年度		令和3年度
項目		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)		30,147	36,210	39,257	35,932	36,725
13 財 源 内 訳	国支出金					0
	府支出金					515
	市債					0
	その他 ()					0
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0
	一般財源	30,147	36,210	39,257	35,932	36,210
14	人件費 (b)	810	820	1,640	1,640	2,460
15	年間経費(c)=(a)+(b)	30,957	37,030	40,897	37,572	39,185

事業費の内訳		（単位：千円）											
		年度		事業費		うち一般財源		年度		事業費		うち一般財源	
項目													
16 事 業 費 内 訳	短期入所事業運営費補助	R3	決算	35,932	35,932			R3	決算				
		R4	予算	36,210	36,210			R4	予算				
	医療型短期入所整備促進事業補助 (R3年度は別事業で掲載)	R3	決算	0	0			R3	決算				
		R4	予算	515	0			R4	予算				
		R3	決算					R3	決算				
		R4	予算					R4	予算				
		R3	決算					R3	決算				
		R4	予算					R4	予算				
		R3	決算					R3	決算				
		R4	予算					R4	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分		単位	令和2年度	令和3年度
		①	②			
17	①	重度障害者等受入者数		人	9,226	10,288
	②	上記①にかかる年間経費		千円	37,030	37,572
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)		円/単位	4,014	3,652
備考 (算出についての説明等)						

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>短期入所事業運営費補助事業については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の第6波の感染拡大の影響から、利用を自粛される方、密にならないよう利用制限や休止した事業所があったこともあり、令和2年度から利用者数に大きな変動は見られない。</p> <p>短期入所は、自宅で介護を行っている方が病気などの理由により介護を行うことができない場合に利用するほか、介護者にとってのレスパイトサービス（休息）としての役割も担っていることから、利用ニーズは高く、手厚い支援を行うための費用として、単位当たり経費は妥当と考えている。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>短期入所事業運営費補助事業は、障害者に十分なケアが行える職員体制を確保するため、単独型短期入所事業所における職員の増員に要する経費の一部と、重度障害者の受入れを促進するため定員数に対する受入れ割合に応じて加算補助を行っており、障害者の暮らしの場の確保の取組の方向性である障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築に寄与している。</p>